

GE-1- i -05	A 歴史人類学	第1学年	後期 選択必修	1.5単位
担当者	出口 裕子			
一般目標 (GIO)	西ヨーロッパ世界の内実を、とくに古代から近世までに焦点を合わせて概観する。画像を交えながら、当時の国制・社会・文化に触れてみよう。人類は、どのような道程を経て現代社会へと到達したのだろうか。各人が問題を考える際の材料を提供したい。			
到達目標 (SBOs)	1. 各時代における国制と社会構造を把握する。 2. 各時代の文化・芸術を感得する。			
受講心得・準備学習等	講義中の私語と携帯・スマートフォン等の使用は厳禁とする。受講するにあたり高校世界史を既習している必要はない。 本講義で扱う時間軸は長い。したがって、出来事やその年号をつぶさに暗記するというより、むしろ各時代の「うねり」を感じとってもらいたい。			
事後学習・復習等	配布するレジュメをもとに復習を行い、講義で得た知見を確固たるものにするよう努めること。講義後、関心のあるテーマについては、図書館でリサーチするのも良い。			
オフィスアワー	講義終了後、教室にて質問を受け付ける。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		適宜、映像・画像を併せながら、講義形式で行う。
回	項目	内容
1	ガイダンス	本講義の概要説明
2	ギリシア神話	古代の人々が信仰した神々と英雄の物語
3	ポリス社会	対等な市民が参加して議論する古代の民主政、市民生活
4	共和政・帝政ローマ	ローマの成立、繁栄、そして瓦解
5	ローマ時代の生活	永遠の都に誕生した建造物、人々の暮らし
6	キリスト教の成立と発展	ユダヤ教を改革したキリスト教が世界宗教になるまで
7	西ヨーロッパ世界の誕生	第一次・第二次民族大移動、封建制度と騎士道文化
8	十字軍	聖地イェルサレムを奪還せよー 西ヨーロッパ世界の膨張運動
9	中世の商業と都市	遠隔地貿易の発達と中世都市
10	大航海時代	アジア、アメリカと結ばれ、世界の一体化が進む
11	ルネサンス	近代を生み出した大文化運動
12	宗教改革と宗教戦争	中世カトリック的価値観からの脱皮、近世のヨーロッパ諸国
13	西洋絵画史	古典（古代）からシュールレアリスム（現代）までを一挙に俯瞰
14	学期のまとめ	まとめ

成績評価の方法	学期末に行われる期末試験と参加態度の総合点により評価する。
成績評価の基準	期末の試験結果が60%以上を合格とするが、参加態度も併せて考慮する。レスポンスペーパーは原則として双方向授業を目指すために使用するものであるが、成績に加味されることもある。
教科書	使用しない。毎回、レジュメを配布する。
参考書など	適宜指示する。